

事務事業名	三国学校給食センター管理事業 三国		事業コード	10060405106
所管部署	三国学校給食センター	電話	81-3571	記入者名 島谷 義則
事業対象	児童・生徒			
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり	事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	学校教育の充実	事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容
根拠法令	有	学校給食法・学校給食衛生管理基準		
根拠例規	有	坂井市立学校給食センター条例・坂井市立学校給食センター条例施行規則		
関連計画・マニュアル	有	坂井市総合計画・坂井市教育振興基本計画・坂井市食育推進計画		

【事業の概要】

園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】 中学校1校（三国）、小学校6校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部）幼稚園1園（三国南） 総計8施設の給食を提供する。その他、幼保園4箇所（みくに未来・宿・安島・加戸）についても福祉予算（保育園費）にて提供している。
◆三国学校給食管理事業 三国148,922千円

○需用費125,940千円
 消耗品費、印刷製本費2,308千円
 燃料費、光熱水費20,756千円
 修繕料（施設等修繕、給食備品修繕他）1,656千円
 賄材料費（給食材料費）101,220千円

○役務費（検査手数料・自動車保険料他）719千円
 ○委託料（害虫駆除委託料他）16,999千円
 ○使用料及び賃借料（CATV利用料他）107千円
 ○工事請負費4,973千円
 ○備品購入費180千円
 ○負担金（学校給食センター連絡協議会負担金）4千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	16,998	千円	16,059	千円	千円	千円	千円	
		需用費	124,702	千円	144,086	千円	千円	千円	千円	
		役務費	721	千円	770	千円	千円	千円	千円	
		その他	5,262	千円	848	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	147,683	千円	161,763	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	14.00	人	98,392	千円	16.00	人	113,744	千円
		臨時職員	9.00	人	22,725	千円	8.00	人	16,416	千円
		人件費合計	23.00	人	121,117	千円	24.00	人	130,160	千円
		総事業費	268,800	千円	291,923	千円	千円	千円	千円	
		事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	100,148		千円	117,578	千円	千円	千円	千円		
一般財源	168,652		千円	174,345	千円	千円	千円	千円		
財源合計	268,800	千円	291,923	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	%	目標値		達成率		達成率
		実績値	63.0	---	65.9	---
成果	品	目標値	1	達成率		達成率
		実績値	1	100		
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率

すぐに行える改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	三国学校給食センターは昭和61年に建設され29年を経過するのに伴い老朽化もますます激しくなり、建物設備、機械設備等の修繕費用も年々かさかさんできており、新改築も含め検討の必要がある。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	学校給食事業は児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要である。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	平成32年度に新・改築の計画であるが、その間施設の健全化に努めて、安定的な給食の提供を図りたい。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	施設の老朽化のため修繕費がかさんでいるが、適正な修繕費の予算化によって施設の健全な状態を維持したい。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	調理員の高齢化や人員不足によって職員への負担は増加傾向にあるが、互助協力によって事務を実施していく。			
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【事業の成果】